

令和5年度  
事業報告書

社会福祉法人平取福祉会

法人本部拠点区分

障害者支援施設すずらん拠点区分

特別養護老人ホーム平取かつら園拠点区分

軽費老人ホームケアハウスしずか拠点区分

相談支援事業所なないろ拠点区分

こころのホームふれない拠点区分

# 目 次

1. 平取福祉会の事業執行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
  - (1) 法人全体の収支決算状況
  - (2) 法人本部の運営状況
  - (3) 各拠点区分への支援
2. 障害者支援施設すずらん拠点区分事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～9
  - (1) 拠点区分全体の状況
  - (2) 障害者支援施設すずらん(施設入所)
  - (3) 障害者支援施設すずらん(生活支援事業)
  - (4) 就労継続支援 B 型事業所さるがわ
  - (5) 共同生活援助事業所せきえい
  - (6) 資料
3. 特別養護老人ホーム平取かつら園拠点区分事業報告・・・・・・・・・・・・ 10～17
  - (1) 拠点区分全体の状況
  - (2) 特別養護老人ホーム平取かつら園
  - (3) 平取かつら園短期入所生活介護事業所
  - (4) びらとりデイサービスセンター通所介護事業所
  - (5) 研修計画
  - (6) 防災計画
  - (7) 各事業実績
4. 軽費老人ホームケアハウスしずか拠点区分事業報告・・・・・・・・・・・・ 18～20
  - (1) 拠点区分の状況
  - (2) 資料
5. 相談支援事業所なないろ事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21～22
  - (1) 拠点区分全体の状況
  - (2) 資料
6. 認知症対応型共同生活介護事業所 ころのホームふれない拠点区分事業報告  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23～26
  - (1) 拠点区分状況
  - (2) 共用型認知症対応型通所介護事業の状況
  - (3) 行事实施状況
  - (4) 研修計画等
  - (5) 防災計画
  - (6) 訪問診療・健康管理等
  - (7) 運営推進会議
  - (8) 外部評価

## 1. 平取福祉会の事業執行報告

### (1) 法人全体の収支決算状況

令和5年度の資金収支計算書による事業活動収入は、802,256,883円、事業活動支出は808,877,513円、事業活動資金収支差額マイナス6,620,630円、施設整備等収支、その他活動資金収支を含め当期資金収支差額はマイナス5,602,103円となり、当期末支払資金残高、74,447,529円で決算したところであります。

また、各施設とも当初予算計画に基づき運営しておりますが、新型コロナウイルス感染が5類に移行したとはいえ依然として、コロナ感染の終息の兆しが見えなく各施設とも感染の影響等により稼働が著しく減収となりました。特に老人施設がコロナ感染対策による稼働の低下と円安による物価の高騰等を含め減収となり、令和5年度については、当初予算計画を下回る決算となりました。

一方、今年度の新規事業として、ケアハウスしずかのボイラー更新工事を実施するにあたり日本中央競馬会馬主会、平取町より補助金を受け事業の実施し、補助残については、一部法人より拠出したところであります。更には、平取かつら園ボイラー地下配管の劣化に伴う地上型タンクの設置工事、また、経年劣化に伴うこころのホーム電気温水ボイラー取り換え工事、また、2ユニット開設施設整備費等についても平取町に支援を求めたところでございます。また、外国人の導入、施設運営に関する費用並びに物価高騰分支援費として、国、道、平取町より支援を受けたところです。法人各施設を運営するにあたり、積立金の取り崩しに限りが出てきたことから、一時借入金として1,000万円を平取町にお願いし資金運用として活用し、使いは経営改善の一端として人件費の削減にも努めてまいりました。

### (2) 法人本部の運営状況

令和5年度は、理事会11回、評議員会を6回(うち1回臨時招集を含む)開催し、理事、監事、評議員は、その職務に応じて注意義務をもって各拠点の事業の実務に向けた協議や各種規程の見直し、更には補助事業、新型コロナウイルス感染症予防対策等について取り組んだところです。

法人本部につきましては、人事管理や経理事務については本部一元化に向け取り組みをしてまいりました。また、事業計画及び資金収支予算書に基づき各施設の推進不可欠な補助金の確保にも各関係機関を通して求めてまいりました。また、新たな事業の取り組みとしては、こころのホーム、2ユニット目開設の取り組みや施設整備として、ケアハウスしずかボイラー改修、平取かつら園ボイラー地下配管の劣化に伴う地上型タンク設置工事等事業を実施いたしました。更に、本部の果たす役割として、将来にわたり持続可能な運営を果たしていくために、法人全体の経営改善を図る策として、人件費の見直し等を実施いたしました。

また、将来にわたり人材の育成と新たな人材の確保として外国人2名を導入し、人材の強化にも努めてまいりました。

### (3) 各拠点区分の支援

定例の施設長会議や管理職会議を通して情報の共有を図り、連携の強化に努めた結果として、一年を振り返り各施設の課題等に向け迅速な対応を図れたことから、今後とも本部事務局を中心に各拠点間の連携を密にしていまいります。また、各種業務や新事業、新型コロナウイルス感染が5類となり緩和されつつもあるが法人としては、今後とも、尚一層感染対策を強化してまいります。

## 2. 障害者支援施設すずらん拠点区分事業報告

### (1) 拠点区分全体の状況

施設経営にあたっては、平取福祉会の「事業執行方針」及び当施設の「事業計画」に基づき法人の経営の基本方針を遵守し、個人尊厳の基本理念をもとに利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点と捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてまいりました。

令和5年度の資金収支計算書による事業活動収入は334,928,419円で、事業活動支出は308,930,927円、事業活動資金収支活動差額は、25,997,492円になっており、施設整備等収支及びその他の活動収支を含め、当期資金収支差額は20,424,823円であり、当期末支払資金残高は47,929,078円で決算したところであります。

施設の行事に関して、引き続きコロナ対策を最優先にして行事を実施してきました。また、ご家族のご訪問や各種業者の出入りについても、玄関先での対応として頂いたほか、お盆、お正月帰省についても帰省先での行動自粛をお願いしました。今後は引き続き他の感染症も含め対策を講じながら、行事等を行ってまいります。

そうした中でもすずらん・さるがわ・せきえいそれぞれが専門的立場に立って可能な限りのサービスを提供できるよう、オンラインによる各種研修を受講したり、関係機関との連携を密にしたりし、利用者の支援サービスに努めたところであります。

事業を振り返り反省と改善をより一層高め、利用者と楽しみながらの生活と安心した支援に努めたいと考えていると共に、各関係機関の皆様方のご理解・ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます

### (2) 障害者支援施設すずらん（施設入所）

今年度は入所定員40名に対し42名でスタートしました。年度途中でグループホームへ居住先を変更する利用者や新規利用者がおり、令和6年3月31日時点で41名の利用者が入所しています。

利用者が日中活動と併せて夜間において介護や介助を通して、その人らしい生活を営むことができるよう支援し、生活の充実に努めてまいりました。

また、高齢化が進み心身が衰え介護や介助を受ける利用者が年々増えつつあり、日中活動と共により良いサービスの提供ができるよう都度検討を重ねています。

### (3) 障害者支援施設すずらん（生活支援事業）

利用者の高齢化が進み疾病を抱えている方も多く自然減少も懸念される中、支援が困難とされる利用者を受け入れるためにはさらなるスキルアップを必要とし、職員の研修やメンタルケアなどの必要性を強く感じ、重度高齢化に応じていく上での、意識改革を進めてまいりました。

利用者の心身の状況等に応じての介護や介助サービスを基本に捉え、軽作業やレクリエーションも取り入れながら健康の維持と合わせ、安心・安全な生活環境を確保し、その他の便宜を適切かつ効果的に行ってまいりました。

### (4) 就労継続支援B型事業所さるがわ

#### ①施設内就労事業

農産部門の取り組みについては、もみ殻くん炭の製造を行いました。薪販売も行いましたが、販売先がみつからず少量の販売にとどまりました。木工部門については、受注生産が好調で前年度より増収となっています。

#### ②施設外就労事業

前年度、新型コロナウイルス感染症で休業し、収入が伸びなかった二風谷アイヌコタンカフェ「アリキキ」でしたが、令和5年度は順調に販売が行えたため、前年度より大幅に増収となりました。平取町国民健康保険病院、鉄道記念館及びライダーハウス、ニセウエコランドについては、引き続き受託先の理解と協力のもと行ってきましたが、平取町国民健康保険病院の清掃業務については、作業種の見直しの観点から令和5年度末をもって終了いたしました。

#### ③施設外支援事業

本町地区、振内地区で6件の事業所で働かせていただいています。受け入れていただいている事業者の御理解と御協力のもと、利用者が今後も生き生きと働ける場を開拓し、継続していけるよう支援していきます。

#### ④受託支援事業

施設内調理実習と洋服の仕立て直しを行っております。調理実習については、給食業務が外部委託となっていますが、引き続き実習を行っております。仕立て直しについては、実習者が高齢となってきたため、状況を見ながら進めています。

### (5) 共同生活援助事業所せきえい

グループホームについては、はばたきを新築し7名の定員で新たに開始しております。既存のしらかば・はばたき・ほろしり・あおぞら・きみかげ・みなもと、せせらぎと合わせ8ヶ所のグループホームを運営しています。単身者住宅を利用している2名と合わせて、令和6年3月31時点で30名が利用しています。本年も利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう利用者の身体・精神の状況並びに環境に応じての相談援助に取り組んでまいりました。

## (6) 資料

## ①行事

月日	事 項	内 容 等
4	1	開園記念日 開園記念お祝い昼食会。入所者、通所者を分けて実施。
	18	春の環境整備 すずらん～車いすの方も参加 さるがわ～休憩時におやつ、ジュース提供
5	11	花見会 施設正面駐車場にて昼食会（ジンギスカン他）
	24	健康診断 札幌慶友会検診にて利用者、職員、全員実施
6	15	野外食会 すずらん、さるがわ（流しソーメン）
	23	避難訓練 すずらん、さるがわ、せきえい（施設敷地内GH）、避難訓練（夜間想定）
7		
8		夏期帰省 13日～15日を夏期休暇とし、保護者送迎のもと希望者のみ実施
	26	ふれあい広場 ふれあいセンターで開催 利用者参加
9	9	振内八幡神社祭見学 利用者参加
	17	食の祭典 二風谷ファミリーランドで開催 利用者参加
	20	避難、消火、通報訓練 振内市街地内グループホームにて避難・消火・通報訓練を行う。
	22	すずらん秋まつり 正面玄関前にて模擬店出店し、ゲーム、カラオケ、よさこい踊り、などで利用者対象の施設内行事として開催
10	19	自然災害訓練 非常食を準備する手順を確認する。
11	22	健康診断 札幌慶友会
12	14	もちつき会 全員で餅をつき、餅を食す
	21	クリスマス会 交流ホームにて実施
1		冬期帰省 希望者のみ実施
2	11	避難・消火・通報訓練 振内市街地内グループホームにて避難・消火・通報訓練を行う。
	22	冬季レクリエーション 交流ホームにてレクリエーション実施。
3	7	慰労会 すずらん、さるがわ、昼食会
その他	※外出旅行	随時実施、小グループに分けて日帰り外出実施
	※誕生会	ケーキ、プレゼントを贈呈
	※健康管理	石井病院、振内診療所、医師往診。定期受診利用者、受診コロナ、インフルエンザワクチン接種

### 3. 特別養護老人ホーム平取かつら園拠点区分事業報告書

#### (1) 拠点区分全体の状況

施設運営にあたりましては、法人の「事業の基本理念」並びに、当施設の「事業計画」に基づき、施設利用者のニーズを十分に取り入れ、利用者の立場に立った生活、生きがいの場であるという「利用者本位」の考え方に立ち、より良い介護サービスの提供に努めてまいりました。特に、ここ近年介護度が高くなり4.2と利用者介護の安全性を考え介護ロボット導入支援事業補助金により低床ベッドの購入や施設整備として、浄化槽配電盤工事、厨房ダクト塗装工事、重油地下タンク配管漏洩による地上型タンクの設置工事を実施することにより、施設内外の整備を充実してまいりました。なお、コロナ禍により、一部補正財源については前期未支出残高に求めたところでございます。

令和5年度の資金収支計算書による事業活動収入は、318,925,643円、事業活動支出は332,033,987円、事業活動資金収支差額マイナス13,108,344円、施設整備等収支、その他活動資金収支含め当期資金収支差額はマイナス17,468,169円となり、当期末支払資金残高、5,197,366円で決算したところであります。今後の施設運営につきましては、国の介護保険の動向を的確に把握しながら健全な施設経営ができるよう平取町と緊密な連携を図りながら運営してまいります。

施設行事等については、依然として終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症予防に努めながら施設内で職員を中心にかつら園まつり、敬老会、デイサービス行事を実施してまいりました。かつら園が地域の高齢者の拠点として、施設・デイサービス利用者及びその家族、更には、平取町をはじめ各関係機関等の深い理解と、ご支援に対し心より感謝しております。ここ4年間職員一丸となりコロナ感染予防に努めてまいりましたが、残念ながら前年度末から1月にかけて2回の施設内のクラスターが発生しました。そのことから入院者の体調不良者が増えたため、職員一丸となり感染拡大防止に努めた結果、早く終息させることができました。今後におきましても基本的な感染対策を遵守し、利用者が安心して充実した施設生活を送ることができるように努めます。3月より新しい事業として特定技能外国人2名（インドネシア人）を雇用し、また、職員組織の見直しや職員としての意識・意欲等についても問い直し、介護サービスの向上を目標に職員の研修計画を立案しましたが、全国的な人材不足、コロナ感染予防の為にリモート研修及びパワーポイント等を使用している内部研修に努めました。

#### (2) 特別養護老人ホーム平取かつら園

特別養護老人ホームは、入所者55名、平均介護度は現在4.2と高く、経管栄養の方についても約1割を上回る状況にあり年々重度化の傾向にあるところです。人間は最後まで尊厳が守られた生活をするべきであり、そのために施設は支援をするのが大きな役目です。職員は一人ひとりが思いやりと緊張感をもって入所者の健康維持・向上に努めてまいりました。

施設の1年間の利用延べ人数は19,307人と昨年より131名少なくなり、1年間計画目標稼働率98%に対し95.9%と目標に届かず、その要因としまして新型コロナウイルス感染症に伴うクラスターによる入院、体調不良対応、感染対策により新規入所者の調整に時間を要してしまったことなどが考えられます。

昨年と同様、近隣や同法人内での新型コロナウイルス感染が広がりを見せる中、道(厚生省)より「高齢者施設の従事者等に対する集中的検査」(抗原検査)の実施や包括支援並びに居宅事業所、町内病院との連携(コロナによる法人内職員派遣)またご家族には面会中止、感染状況を見て非常口を利用したスペースでの面会、入所者がご家族に会うことが難しい

時でした。また、園だより、敬老の日のカードなどで個々の様子をお知らせし、長期休暇等で人員不足の中ではありましたが試行錯誤しながら職員一丸となり取り組んでまいりました。

4年間新型コロナウイルスと戦い、施設内の感染拡大はここまで出さずにきたところではありましたが、令和5年3月10日入所者1名陽性確認後クラスター発生となり、感染は入所者33名、職員18名合計51名4月20日終息、また令和5年12月31日入所者陽性確認、感染は、入所者9名、職員3名合計11名1月24日終息となり今年度、2回のコロナクラスターとなっております。期間中保健所の助言や指導、各関係機関の協力や支援、ご家族のご理解やあたたかいお言葉をいただきましたことに深く感謝し、入所者・職員ともに、無事終息できましたこと心よりお礼申し上げます。

今後も基本的な感染対策を続けながら皆様が安心してより充実した施設生活を送ることができますよう努めてまいります。

### (3) 平取かつら園短期入所生活介護事業所

短期入所生活介護(ショートステイ)の、1日の平均利用目標数は月平均3.0人に対し2.4人と利用減という結果となりました。このことについては、長期利用している方の施設入所または入院、短期間の利用が多くなったこと、平取町内での新型コロナの感染者の増加や状況に応じて利用を制限、更に年度内2回、当施設内クラスターに伴いショート受け入れを中止としたため、緊急時の対応もできず関係者の方々には多大なるご迷惑をおかけしました。(受け入れの際は、感染対策として来園時のチェック、利用は2、3日間個室で経過観察をさせていただきながら実施をしておりました。)

今年度の経験を踏まえ、今後も利用者、ご家族、包括・居宅介護事業所との良好な関係を築き、個々のニーズに寄り添い緊急時などにも柔軟に対応し満足度の高いサービスに努めたいと思います。

### (4) びらとりデイサービスセンター通所介護事業所

通所介護事業所の目標利用者数1日23人に対し22.6人と目標を達成することができませんでした。施設内のクラスター発生に伴い、新館とデイ玄関を区切り職員間の交流をせず、早期にデイ事業を再開しました。今年度より土曜日15人での営業をスタートしましたが、利用者よりコロナウイルス感染が確認され、その後濃厚接触となった職員からも感染者が発生したことなどもあり開催日については296日に対し287日で9日間開催することができず、3月末の登録数は91名となっております。

デイサービスセンターは日常生活に必要な介護と機能訓練、生活指導を行い、生きがいをもって明るく安心した生活が維持できるよう質の高い介護サービスの提供に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染予防に配慮し、また利用者関連や近隣での感染者の発生状況を考慮して事業縮小、感染対策を重視し実施してまいりました。

また、昨年7月より新規事業として、トマト就労事業(トマトの袋詰め作業)は、リハビリを兼ねた就労作業を実施、作業する皆様は意欲に燃え、和気あいあいと作業に取り組んでおります。

今後も職員一同、「デイサービスを利用して良かった」と心から感じていただけるように、



個々のニーズに真摯に向き合い介護サービスに努めてまいります。

#### (5) 研修計画

職員組織の見直しや職員としての意義・意欲等についても問い直し、介護サービスの向上を目標に職員の研修計画を立案しましたが、全国的な人員不足、コロナ感染予防のためにリモート研修及びパワーポイント等を使用しての内部研修に努めました。

#### (6) 防災計画

災害は予期せずによってきます。施設・デイサービス利用者の「生命安全」第一に、防災計画を立案し、日常的な火災予防、生活安全、交通安全の意識を高めるとともに、防護・防災体制の確立、避難訓練の実施など万全を期してまいりました。自然災害・日中における火災想定での避難訓練、夜間想定(災害想定を含む)避難訓練、5年度は3回、消防署の指導を受け訓練を実施しています。

## 4. 軽費老人ホームケアハウスしずか拠点区分事業報告

### (1) 拠点区分の状況

施設経営にあたっては、平取福祉会の「事業執行方針」及び当施設の「事業計画」に基づき法人の経営の基本方針を遵守し、個人尊厳の基本理念をもとに利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点と捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてまいりました。

令和5年度の資金収支計算書による事業活動収入は、54,466,445円で、事業活動支出は、56,997,124円となり、事業活動資金収支差額がマイナス2,530,679円、施設整備等収支及びその他の活動収支を含め当期資金収支差額は、マイナス1,012,781円であり、当期末支払資金残高は、2,135,752円で決算したところであります。

また、入居者の動向としては、亡くなられた方が2名、長期入院1名、他施設へ移られた方が2名の入れ替わりがありました。

入居者の処遇については、半数以上の入居者が要介護認定を受けている中、毎朝入居者の居室を訪問し体温を測定するなど健康状態の把握に努め、体調不良の入居者には早期の医療機関受診を勧めるなどし、ご家族への状況報告を行っているほか、服薬の管理が必要な方も半数を超えており、服薬のチェックも行っております。また、保健師の訪問による健康相談・血圧測定も実施しております。

食事については、咀嚼や嚥下状況によりおかゆやきざみ食での提供も必要となってきており、委託業者との給食会議、調理員との連携などにより適切に対応し、楽しく安全においしく食事が行えるよう心掛けてまいりました。

令和6年3月31日現在では、要支援者が6名、要介護者6名おり、ホームヘルパーやデイサービスなどの介護保険のサービスを利用しています。そうしたことから入居者が必要なサービスを円滑に利用できるよう居宅サービス事業者や医療機関などと連携を図り支援してまいりました。また、アンケートを取るなどしてニーズの把握に努めたほか、入居者一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、信頼関係を構築し、きめ細やかな支援に努めてきました。

新型コロナウイルス感染症対策としましては、日頃よりマスクの着用・手洗いの励行・三密の回避及び換気や共有部分の消毒を徹底してまいりました。なお、ワクチンの接種についても入居者・職員とも7回の接種を終えていますが、残念ながら9月、11月、12月、1月に、入居者(感染者延べ6名)と職員(感染者延べ4名)の感染を確認しましたので、その都度、施設内・感染している方の居室の並びに施設の消毒を強化し、感染解除(2週間程度)するまで、居室から出ないよう指導また協力を徹底、職員の出勤停止をした結果、感染を拡大せず終息することができました。

施設整備、備品につきましても、開設して19年を迎え、開設時に設置したボイラーの老朽化も著しい状況であり、日本中央競馬馬主会並びに平取町からボイラーの更新工事の補助金受けることができました。

今年度は、高齢者の特性に配慮した住みよい住居及び適切な食事を提供するとともに、入居者の特性を尊重することを基本としながら、入浴等の準備、相談及び余暇活動の援助、健康管理などの日常生活上必要な便宜を提供することにより、入居者が安心して明るく心豊かに生活できるようにすることを目指し取り組んでまいります。

最後に、平取町をはじめ法人の役員の皆様、また、地域の皆様方には大変お世話になったことを感謝申し上げ、更なるご支援・ご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## (2) 資料

### ① 年間行事計画実施状況

月日	行事名
令和 5年 4月 26日	花見ドライブ(新ひだか町 二十間道路)
令和 5年 5月 18日	花見会
令和 5年 6月 1日 令和 5年 6月 2日	すずらん観賞ドライブ(宿主別)
令和 5年 7月 20日 令和 5年 8月 17日	居酒屋しずか(夏)
令和 5年 8月 24日	外食の日 回転ずし(苫小牧市)
令和 5年 10月 5日	敬老会
令和 5年 10月 31日	紅葉見学ドライブ(安平町)
令和 5年 12月 14日	クリスマス会
令和 6年 1月 25日	ゆからの日(平取温泉)
令和 6年 2月 6日	居酒屋しずか(冬)

### ② 防災計画実施状況

月日	行事名	内容
令和 5年 6月 22日	避難訓練	火災想定
令和 5年 9月 22日	防災訓練	土砂災害想定
令和 5年 10月 26日	避難訓練	夜間火災想定

③入居者の状況（令和6年3月31日現在）

○ 年齢構成

年代	男性	女性	合計
60歳～69歳	0名	0名	0名
70歳～79歳	1名	3名	4名
80歳～89歳	3名	10名	13名
90歳～95歳	0名	3名	3名
合計	4名	16名	20名

※平均年齢 男性85.0歳 ・ 女性86.3歳 ・ 全体86.0歳

○ 要支援・要介護者状況

要支援・要介護度	男性	女性	合計
要支援1	0名	2名	2名
要支援2	1名	3名	4名
要介護1	1名	5名	6名
合計	2名	10名	12名

○ 介護保険サービス利用状況（複数利用有）

サービス種類	男性	女性	合計
ホームヘルプサービス	2名	5名	7名
デイサービス	2名	7名	9名
福祉用具レンタル	1名	7名	8名
合計	5名	19名	24名

## 5. 指定相談支援事業所なないろ拠点区分事業報告

### (1) 拠点区分全体の状況

令和5年度の事業経営にあたっては、平取福祉会の「事業執行方針」並びに当事業所の「運営方針」及び「事業計画」に基づき、福祉サービスを利用している方への計画書及び報告書の作成を主に行い、地域生活者の就労・生活状況の確認や相談等の支援を行ってきました。

定期的に日高管内の相談支援事業所間の情報交換会・会議・研修等は、現場開催やリモート開催で行われ、施設訪問では、直接利用者との面談が可能となり以前同様の聞き取りを行うことができました。

今年度の資金収支計算書による事業活動収入は17,099,646円、事業活動支出は12,910,673円で事業活動資金収支差額は4,188,973円、施設整備等による収支及びその他の活動による収支を含め当期資金収支差額は3,058,893円で、当期末支払資金残高は4,033,554円で決算したところであります。

### (2) 資料

① 実施日数 238日

② 相談受付ルート

・障害福祉サービス事業所 ・行政機関 ・病院 ・家族及び本人

③ 相談方法の状況

方法	電話	訪問	同行	来所	計
延件数	137	411	14	309	871

※下記の4点は上記に含む

- ・関係機関情報提供・調整
- ・家族の相談、会議
- ・地域定着支援
- ・認定調査 調査実績 50件（平取町 帯広市 函館 札幌市 上士幌町）

④ 障害別利用延件数

	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	その他	不明	計
成人	657	90	40	0	37	1	825
児童	34	5	2	4	1	0	46
計	691	95	42	4	38	1	871

⑤ 相談区分別延件数

基本相談	計画相談	認定調査	生活困窮	地域定着	権利擁護	支援会議	計
138	625	57	27	19	0	5	962

⑥ 相談者別延件数

本人	家族	関係者	関係機関	その他	計
369	45	3	454	0	871

⑦ 相談内容

内 容	延件数	内 容	延件数
福祉サービスの利用全般	76	社会資源活用・社会参加関係	14
障害・健康・医療関係	387	余暇活動関係	191
不安・情緒安定・希望確認	375	権利擁護関係	0
保育・教育関係	6	住宅環境関係	191
家族・人間関係	333	施設利用・案内関係	53
家計・経済関係	57	情報共有・調整・確認関係	462
生活技術関係	219	制度説明・年金・申請関係	31
移動関係	9	その他の福祉関係	9
日中活動・就労関係	470	計	2.883

⑧ 職員研修等

下記の通り、集合又はリモートで勉強会及び研修に参加いたしました。

- ア) 障害支援人材育成～ 難病の日 記念講演「難病者の社会参加を考える」  
精神保健福祉基礎研修「法制度と相談支援」  
広域相談支援体制整備事業「自立支援協議会を知ろう」  
全道知的障がい関係職員研究大会
- イ) 虐待防止・権利擁護～ ライフステージを通じた自閉症支援を考える  
平取町市民後見フォローアップ研修会  
キャラバンメイト交流会
- ウ) 児童～ 就労準備支援事業連絡会議
- エ) 生活困窮支援～ 意思決定支援地域意見交換会  
生活困窮者自立支援事業函館包括事業との意見交換会
- オ) その他～ 障害支援区分認定調査員研修  
日高圏域相談支援事業所合同研修  
厚生労働省 認定調査員フォローアップ研修

## 6. 認知症対応型共同生活介護事業所こころのホームふれない拠点区分事業報告書

### (1) 拠点区分状況

介護理念「わたしらしく・・あなたらしく・・これからの生き方を共に考え・寄り添い、信頼関係の構築に努めて参ります」との、分かりやすい簡潔な理念を掲げ、職員間で統一したケアを遂行できるよう、定期的に理念を確認しながら良質な支援の提供に努めて参りました。認知症の人が見ている世界を知ることは、良質なケアのヒントになることを習得し、適切なサポートで、自立した生活を送る喜びを感じて頂けたらと職員一丸となって今後も邁進する所存です。

令和5年度中は、町内の各施設において感染症の発生が見受けられるなか、当ホームにおきましては、重大なクラスター発生もなく経過することができました。これもひとえに多くの方々からのご指導・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後も感染防止委員会を中心に、日頃からの研修を通じ感染防止対策に努めて参ります。

令和5年度の資金収支決算書による事業活動収入は、77,263,483円、事業活動支出は77,540,407円、事業活動資金収支差額は、マイナス276,924円で、施設整備等収支及びその他の活動収支を含め、当期資金収支差額はマイナス4,804,097円となり、当期末支払資金残高は、マイナス7,567,794円で決算したところであります。なお、事業活動収入のうち、平取町補助金として12,478,400円、道補助金として649,200円が含まれています。

当施設では各種行事を計画・実施するにあたり「笑顔や驚きを増やす」との共通理解のなか、職員は業務に従事しています。依然、入居待機者が多い状況ですが、今後も関係機関や法人本部との連携・協力のもと、さらに充実した施設運営を図って参ります。

稼働率				
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間平均稼働率
100%	98.36%	95.53%	97.62%	97.49%

入所者介護度						
要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0名	3名	8名	6名	1名	0名	2.28度

(R6年3月31日現在)

※2ユニット目開設に伴い、新たな生活環境のなか体調を崩される方もいましたが、稼働率もある程度良好に維持されています。これは年度内2名の途中退所がありましたが、即座に新規入所に繋げたことも要因の一つです。今後も日頃の状況観察での生活支援に努めますが、身体機能だけではなく認知症状の進行、在宅生活で家族様の見えない部分（特に夜間）での不穏行動による区分変更の申請など、安定的な運営を進めます。

(2) 共用型認知症対応型通所介護事業の状況

共用スペースを活用し、ひとり一人に合わせた柔軟な支援を提供するため、週2日（定員3名）で「通所サービス」を行ってまいりました。しかし、生活介護2ユニット目の開設により、人的配置の面から令和5年8月末をもって休止としています。

月間利用延べ日数（通所介護）					
4月	9日	6月	12日	8月	3日
5月	4日	7月	10日		

(延べ利用日数合計：38日)

月別収入額（生活介護・通所介護）			
4月	3,353,330円	10月	6,651,320円
5月	3,432,900円	11月	6,332,310円
6月	3,370,590円	12月	6,861,160円
7月	3,468,570円	1月	6,754,410円
8月	3,361,480円	2月	6,355,940円
9月	6,628,350円	3月	6,963,970円

(収入合計 63,534,330円)

※収入は「介護報酬+利用者負担金」の合計

※通所介護は8月末をもって休止、生活介護の定員は9月以降増床（9名→18名）

(3) 行事实施状況

実施月日	行事名
4月～5月	入居者健康診断（平取町国保病院）
5月 2日	お花見（桜見学会）二風谷
5月10日～	家庭菜園苗植え・花植え
6月21日	居酒屋 ころろ
6月28日	ふれあいミニ動物園見学（小林組）
9月 6日	ころろ大運動会（屋内）
9月19日	ころろ敬老会
10月6日	ころろ大収穫祭（ころろ農園）
11月3日	振内地区文化祭作品展示
12月下旬	クリスマス会・年越し会
2月3日 3月3日	節分豆まき・ひなまつり

※このほか各入所者の誕生会や、職員による楽器演奏会なども随時実施しています。

今年度は2ユニット目の開設に伴い、一部の行事は取りやめ、または縮小して実施。



#### (4) 研修計画

実施月日	実施内容
令和 5年11月16日～18日	介護支援専門員更新研修 (web: 松澤ケアマネ)
令和 5年12月 9日～10日	介護支援専門員更新研修 (web: 出羽施設長)
令和 5年 9月27日	認知症介護基礎研修課程 (web: 久保屋敷介護員)
令和 5年12月16日	北海道認知症グループホーム協会研修 (フレソ) (出羽施設長、三浦係長、藤沢看護師)
令和 6年 2月13日	認知症介護基礎研修課程 (web: 三浦介護員)
令和 6年 2月28日	理学療法士PT研修会 (包括支援センター主催) (リハビリ運動実技講習: 施設内)
令和 6年 3月26日	認知症介護基礎研修課程 (web: 横沢介護員)

※コロナ禍の影響により、web研修での参加が多くなっています。現状の業務で不足している分野の知識について研修を通して習得し、個々のスキルアップ及び、総合的な統一した介護力を維持する上で、今後も各種研修への積極的な参加を図って参ります。

#### (5) 防災計画

実施年月日	実施内容
令和 5年 4月 1日	消防計画書変更届提出 (日高西部消防組)
令和 5年 9月26日	総合避難訓練 (火災想定)
令和 5年10月 3日	消防設備点検 (スプリンクラー等)
令和 6年 3月21日	部分避難訓練 (夜間災害・火災想定)
令和 6年 3月 1日	事業継続計画 (BCP) 策定

自然災害や感染症など不測の事態においても、事業の早期再開と事業継続するための指針となる「BCP計画」を令和6年3月1日に策定しました。利用者及び職員の安全の確保のもと、サービスの継続により総合的な地域福祉の向上推進するため、平取福祉会本部、法人内各施設、関係機関との連携のうえ、計画における趣旨の意識啓発、適正な遂行と見直しを進めてまいります。

#### (6) 訪問診療・健康管理等

平取町国民健康保険病院と委託契約を交わし、担当医師により毎月1回定期訪問診療を実施。また毎月開催する職員会議において、入居者の日々の生活・健康に関する情報交換とともに各種委員会も併せて開催するほか、日々のバイタルチェック、救急時の対応や必要に応じた病院への送迎、個々の服薬管理も行っています。

○訪問診療実施日 毎月初旬～中旬 (年12回)

○委員会の開催 感染防止・給食・高齢者虐待防止・身体拘束・事故防止委員会

## (7) 運営推進会議

平取町地域密着型サービスに関する条例に基づき、利用者が求める充実した生活と事業所の健全な運営を図るために、委員から指導・助言をいただく「運営推進介護」を設置しています。委員は利用者家族、地域住民、関係機関から構成され、以下のとおり、2カ月に1回会議を開催しています。(委員6名・施設職員)

### 【会議の開催状況】

回	実施月日	出席人数	内容
1	5月25日	9名	推進委員委嘱・運営状況 入居状況・外部評価について他
2	7月27日	9名	運営状況・入居申込状況 2ユニット開設関連他
3	9月28日	6名	運営状況・新規職員報告 入居申込状況・意見交換等
4	11月28日	9名	運営状況・施設整備について 入居申込状況・意見交換等
5	1月25日	8名	運営状況・入居申込状況 行事の実施状況
6	3月26日	6名	運営状況・入居申込状況 委員の委嘱・意見交換等

## (8) 外部評価

北海道で定める外部評価要綱に基づき、年1回の外部評価が義務付けられていることから、今年も専門の事業者による審査を下記の通り実施しています。なお、外部評価の結果、今年も高評価を得ているところです。

☆審査期日 令和6年3月12日 9:45分～14:00分

☆実施者 ナルク北海道福祉調査センター 調査員2名

※今年度で3回目の調査となります。調査回数5回終了で2年に1回の実施回数に申請できることとなります。また運営推進会議で外部評価を行うこともできますが、新しい要綱・変更された様式等、専門分野の知識のある方の助言はとても参考になることから、今後も専門評価事業者の審査を受け、施設運営の改善・向上に取り組んでまいります。

今後も、介護理念を定期的に職員全員で周知・唱和することで、困難時も理念に寄り添える良質な支援ができるよう職員の意識啓発に努めます。